

新編水滸畫傳

九編

三

21
875
83



甲へ巻21
875
卷 80

新編水滸画傳卷之八拾三

東武 高井蘭山公羽譯編

明治三十九年
五月十日

○混江龍太湖中かくかく義を信よ

呂樞密と宋の大軍居城と三方より紅圍を攻るを山とも拔べ
る勢なれば時汝お命を以て云條先城とぞもく望く敵と防ぐ
處に必ぞ深く城と破るる事なれば己お兵と命らあしう
汝お命と更く帳本と退さけを呂樞密らも汝お命と
汝後事不入城らむ後の家人おと集るる事既おけお命を
針の糸へごとものなし。まうじ城と棄て落人あへと情お首級と定
めらる。汝彼守お汝振鵬死の上へ代て守るべら今命と針
定なるる。先命お私宅お同り妻奉玉蒙お告ける今命を明

新編水滸画傳卷之八拾三

大軍とゆく城とまきくおれりてみ。秦王兼金鼓と息で戦と挑む。
 城中の系来糧乏し。將士おれりて死んて最難く。若城
 と破られま。將軍の皆死と及のりお枝す。何とゆてこれと免れ
 んやとて深く憂ふ逼りける。秦王兼云。丈夫とて本宋胡の田
 安と云。持さる天子の洪恩と受りいし。宋胡の為お忠と死
 たりん。是則天の理人の為なら。速おれと去て正しとふゆり。呂
 樞密と活授て宋公明お訣し。宣し。將軍の事と死ひる人。金鼓
 ぐ云呂樞密ぐ。下おり人の統制。友とて各人ると死ん。汝や彼
 許定の平生。我と不相う。呂樞密ぐ。汝の若なら。呂樞密ぐ
 為ふ力とて。えんと必死なり。我り。孤力とゆて。正しとかり。ト
 及し。は。汝もて。禍と惹出。後お。宋公明の死と遂へ。若し

依り。樞密とる。不あり。秦王兼云。己おかの如く。丈夫夜中
 お若文と修く。城お。小射お。死ん。先。内。と宋。海。小。西。と
 程。後。お。合。の。針。と。お。ま。り。夫。夫。明。日。棟。と。お。一。戦。と。な。り。作。り
 故。お。し。ま。り。宋。の。法。軍。勢。必。ず。と。ま。え。と。案。と。て。追。蒐。へ。さ。る。夫。夫
 と。只。け。機。小。案。と。宋。の。兵。と。城。中。お。到。り。人。死。ん。夫。夫。の。功。大。し
 く。宋。胡。の。脅。威。と。象。の。禍。と。去。く。福。お。ら。し。金。鼓。穿。く。大。由。恨。ひ
 妻。の。教。小。お。ひ。け。る。聖。日。宋。江。と。引。く。案。と。城。と。攻。へ。呂。樞
 密。汝。お。と。集。め。儀。し。り。の。汝。と。法。人。い。う。あ。る。針。と。ゆ。く。故。と。退。ん。と
 思。ふ。若。不。存。お。い。速。お。洋。海。と。全。節。を。と。出。く。云。南。北。の。城
 と。系。来。要。害。と。死。名。殊。り。し。バ。只。官。と。く。案。を。と。出。り。出。く。戦。を
 及。へ。く。ひ。り。獲。列。より。援。の。云。お。り。な。ら。し。時。三。軍。と。引。く。城

中と此土内介より夾ぐ衆兵とあべいさう務利あうんや呂極密
 けいよとまうけうりし同く。極く徳おと分て城の口門とまうしむ
 明趙毅ハ東門とまう。沈杵花晴ハ口門と守り。金部と西門
 と守り。洋定ハ南門とまう。己うとまう。定りし各兵と
 く城つとまう。夜今部書簡と傳へ衆兵拾り。呂極密
 の左側おまう。自城樓お上り。極く彼衆と西門の介お出
 しけう。宋江の嘴のまきと拾ひ。急ぎ西陣の口お入る。宋和と
 敵を以陣とまう。大お花相。魯智深。なう。ひふ。忠武堂。西
 人何く。けい矢とまう。口中お悔。副お杜具と宋江。如陳
 おき。けい半と傳へ。宋江。呂用。けい時帳中。お上り。守軍と
 儀。居る。処お杜具。己おまう。彼衆。文とまう。宋江。宋文とこ

く。極く。極く。子。逃法。お。能。て。計。と。定。め。り。り。呂。極。密。と。自。城
 樓。の。上。お。上。り。宋。江。が。陣。中。と。ま。う。呂。用。が。法。軍。衆。群。と。城。と
 金。お。丸。圍。と。ま。う。忽。ち。大。石。砲。と。放。り。天。地。も。震。動。す。る。が。ど。れ。し
 く。城。の。角。樓。と。お。壞。し。る。呂。極。密。こ。れ。と。り。ん。く。大。お。獲。と。燒。て
 托。と。城。樓。と。下。え。城。と。一。戦。と。な。ん。と。城。つ。と。ま。う。大。お。お。衆
 令。と。傳。へ。た。れ。ば。法。人。會。と。ま。う。城。の。口。門。お。守。り。鼓。と。鳴。り
 然。大。お。音。城。つ。と。完。り。し。呂。極。密。と。し。て。先。お。つ。と。ま。う。大。お。沈。杵
 花。晴。無。兵。引。く。城。お。お。知。し。る。大。刀。突。つ。れ。し。と。り。て。馬。と。逃。を
 口。と。舞。し。て。海。前。お。泡。出。し。お。女。江。時。と。逢。へ。く。後。と。又。一。戦。の。ま
 ど。十。合。お。及。び。ど。る。忽。ち。口。門。と。ま。う。大。お。金。部。又。一。龍。の。軍。馬
 と。引。く。城。お。お。突。て。出。ぬ。り。小。城。の。衆。と。極。く。戦。と。極。く。宋。江。が

秦王勳
趙小舞
宋朝小及忠
精勵
説示す



八頁 齋 罪 者 五

便雲頭洞迹山腹古木茂平繚山足
頭百丈瀉寒泉知有高峰挿尺綠

陣中より。病尉遲孫立馬と馳せ北に。追ひて入る所と
逢ふ。又七合戦し。忽ち合衆作らば。城と入らば。逃り
え。孫立後下。追鬼し。燕馬鱗も。お續く。孫立ある。
魯智深。武行者。孔明。孔亮。孫良。杜興。亦も。一度。小兵。と。引。く。孫立
攻。め。ける。合衆。已。小。城。中。小。逃。り。し。忽ち。孫立。も。お。續。く。城。中
小。逃。入。西。門。の。辺。大。小。孫。立。り。し。百姓。せ。い。は。と。り。く。合。衆。收。び。我
れ。多。事。年。方。孫。立。し。て。恨。背。猶。小。敵。せ。り。以。節。宋。の。兵。と。ゆ。け。て
根。と。頼。り。ん。べ。又。小。の。時。と。付。ん。と。て。西。門。の。邊。小。孫。立。宋
の。合。と。せ。小。南。軍。亦。と。付。り。し。城。ま。せ。ん。小。敵。せ。り。と。孫。立。東。の
小。逃。ま。り。げ。守。城。の上。小。孫。立。海。の。旗。號。と。立。し。て。范。曄。沈
折。是。と。り。し。城。中。小。孫。立。と。知。り。合。衆。と。馬。と。回。し。て。城。小

入んとり。忽ち。虎の方より。王。雙。虎。一。丈。毛。出。し。て。范。曄。生。擒
右の方より。宣。贊。郝。思。文。沈。折。と。馬。と。回。し。て。軍。士
を。小。合。衆。と。遂。小。是。と。活。捉。し。て。時。宋。は。是。用。大。軍。と。引。く。城。中
小。入。口。方。と。搜。し。南。軍。亦。と。生。捉。り。海。賊。と。い。ひ。り。呂。樞。密。の
件。定。と。引。く。南。門。小。孫。立。出。し。し。宋。の。兵。亦。引。く。逃。り。し。り
を。孫。立。追。つ。て。再。び。合。衆。と。回。し。合。衆。と。回。し。て。合。衆。の。勢。殺
ら。呂。樞。密。小。合。衆。と。引。く。城。中。小。孫。立。に。門。と。閉。ひ。り。小。孫。立。逃
ま。り。合。衆。と。引。く。百姓。の。合。衆。と。引。く。孫。立。も。百姓。と。引。く。知
孫。立。投。へ。り。合。衆。に。合。衆。中。小。孫。立。後。以。意。明。は。又。孔。軍。の。中。小。付。れ。け
り。宋。江。橋。と。掛。く。百姓。と。接。し。し。百姓。亦。大。小。威。収。し。老。と。投
け。切。と。携。へ。り。宋。江。と。合。衆。は。合。衆。と。引。く。合。衆。亦。宋。江。に。合。衆。小

然く亦く宋公明お招喝しりんば宋江も黙然お是と違へ
 其功を賞しり。金節今日宋江お招喝し再びらに成となる
 と是又金妻秦王蒙切なり。宋江彼花時沈折趙毅ふ二人
 と臨軒ふ入文書と若孫劉金節お命じ。涇川の張招討が方
 お送りりんば金節命をせり。公文を以て二の囚車と監押し
 て涇川おを登り宋江先送く戴宗と涇川お純金節が忠義
 事と。張招討お告るを金節涇川お知り時張招討之使者
 と知し金節と城中お送り多く金節新飯と以て金節
 賞しりんば金節息を奪り人お招び再三款を以てお謝せり。
 副都督劉克世即時金節と封じて將軍統し遂お軍
 申お留めり。以後金節の劉克世お送り。大金元末四太子成

破り多く幾切と立。親軍指揮使の官となり。亦お中山の孫お至
 て討死にけり。張招討副都督を令節と賞して後彼二人の
 款と臨軒より引取し。遂お是と縁し。遂と街お島しり。扱宋
 江常川お在り。戴宗と宣州湖州おお純。廣徳義お清。是成
 通。兵と信し。むら知お。孫卿劉素し。報トる。呂樞密お
 お。揚縣お逃回。再び孫卿おの援兵と勢と合せ。進し。又攻來
 々と風使あり。速くれば宋江と破く。子速軍馬と信し。正
 お備お招く十人。お。一万の人馬とよ。南の方お奔向し。む。此
 十人の大おの冥傍。秦明。秦全。李真。魯智深。武行者。李達。鮑旭。
 項元。李哀。お。こ。十人の大おの人馬と引く。宋江と釋し。遂
 お南と送り。お出ぬ。お。戴宗の宣州湖州へ。越て。幾の勅。蘇と

宋即日乘進と引く中陣小龍回り初ら軍江小告く云副之飛
虜使義宣別と攻むひ一ふり。今宋大友人と以て捷軍代報
いり入る軍に交る大お収び早速宴と役け宋をよと答を息し
軍の以牙武具小同るれば宋を一輝お終て文書と宋に上り
以軍に文書とるふ宣別とあくる方備り長徑畧使家余慶
がより下小統制史六人の統制官の六名なり一日家余慶云
部杜牧長魯安潘濬程務祖韓明の六名なり一日家余慶云
武備一ける知小六人の統制官三子小合れ親方の情と違へ
り。虜使義も二方より兵とを宋龍向の中お呼延灼とて摩
詔とお教へ董平も韓明とお戮ひ己お十餘合小奪く董平
遂小韓明と相伏りれば故の中軍大お收むぬたふ林冲とて

杜牧長と判教し。索起り又魯安と取ぬ右方の張清とて潘
濬とお戮へ務祖又程務祖と滄と合せり。張清己おんとて
て潘濬とおくる怒ふ。赤虎お李忠純おく潘濬とおくる程
務祖とてりて怒ふ小逃り。け日教方辨小お捨て。初りよ
逃りけふ。故遂小城中小入り怒ふ。虜使程去ををぞ。城
戸の透小推寄る。け時城中小本んと投り一人の偏おとお教
と程去を親方の然お少も怒ひ喊と叫び攻り小城内り
ぬの如く毒箭と放ち又西人の副おと射殺しぬ。虜使程大お
怒り。け夜は面を紅圍んが緊し。攻り東門の故遂小破
れりる。宋小速宣別城と乘ぬる。李教の札軍の固小射死し。
家余慶の故軍とて湖別小居り。程務祖と方去を逃

經一々大將六軍指揮使情忠なり。より下二十人の高ね
と獲へく。一方経緯を引年し。並おけ知小然く。呂仲囊と熱か
合せ。共小を湯縣とさるる。呂仲囊戦の攻牙と控く。今節か
驚りし。故小城と敵。一々正と々小告りん。清忠をさす
云。樞密相公をと安ん。より。軍再ひ刑と知。後。宋に小と進散
えんと。宋と云。お。孫柳。引。来。一と。報。り。る。宋。に。人。る
と。や。近。く。ぬ。り。清忠。を。と。時。速。城。の。水。門。と。お。わ。く。宋。の。將
と。置。り。る。小。黒。龍。風。亭。達。高。生。小。を。人。と。乾。旭。項。元。宗。家。小。と
て。小。攻。ま。る。清。忠。を。小。攻。り。れ。く。陳。と。布。小。及。と。大。小。攻。ま。る。宋
を。く。己。小。湯。縣。小。逃。入。一。時。李。達。小。は。人。の。攻。め。る。後。小
將。中。小。逃。入。一。日。呂。樞。密。大。小。將。と。さ。る。南。門。の。方。小。逃

ま。る。け。時。國。信。人。馬。と。引。く。攻。ま。り。遂。に。湯。縣。と。奪。取。く。は
方。小。火。と。ぞ。放。り。る。清。忠。伴。定。面。人。も。南。門。より。ま。り。出。む。小
獲。別。と。さ。す。と。湯。縣。の。國。信。小。は。城。と。攻。め。使。者。と。奉。送。小
能。ん。ば。宋。に。是。と。告。ぐ。大。小。收。び。決。大。お。と。さ。小。と。湯。縣
小。來。り。子。孫。擲。と。お。し。て。白。姓。小。と。接。り。ん。ば。白。姓。の。故。を。收。む
と。信。の。軍。に。己。小。三。軍。と。收。め。く。縣。中。小。屯。し。即。日。使。者。出
ひ。く。張。別。而。總。兵。と。帶。別。へ。送。り。興。く。城。と。守。り。せ。り。る。板。橋。呂
樞。密。を。清。忠。伴。定。面。人。と。合。し。て。殺。害。と。引。己。小。獲。別。城。小
入。く。軍。の。攻。め。一。く。洋。小。に。大。王。方。親。小。告。り。く。小。に。大。王。大。小。怒。り
左。右。小。命。一。く。呂。樞。密。と。斬。り。ん。と。さ。り。清。忠。小。再。に。告。す
云。宋。に。軍。中。の。法。お。お。り。小。將。小。擲。り。る。者。多。し。況。や。は。宋

宣州子鄭天壽
大石小坡也
死す



と合せ天地も崩る牛の人の大將戦ひもや二十餘合おど
 り久呂樞密の敵も逃回らんとも知らぬ徐寧も
 槍と伸して呂樞密と馬より下り小突きぬけ時李達二子の
 斧と振る乾旭項元宋家おと共お故陣の内お攻入る南軍
 方貌も大軍おけ遇兩軍各遠去と放る陣勢と別子ける
 南軍の陣中へ彼八標騎の猛將も馬と並へお勅へり方貌
 へ中軍お立て呂樞密の討とんとて大お怒り目も戟と提馬
 成飛せ疎赤おをい出さる宋江と罵てお汝は是梁山泊の盜
 賊なる小宋朝の運領も汝とえ汝お討ど多う小我大おと侵
 しむ我今汝おと一し候も手腹とえ入りめん必ど後悔する

ことなるれ宋江大お怒てお汝はめと睦州の村吏への何の編を
 覇業と罵るやお天命と知るか早く汝も一命脱とよ我
 天去らふお上六汝と斬るえんと只須臾の目おあり方貌
 是と望も大お怒り汝お我お故見と思りお八人の賊將
 とお八標騎の猛將と戦やあよ宋江冷笑ていつ汝
 お八標騎の槍とおせ我も又八將とお一勝負と交せしめん
 汝心も暗お矢と放るもむらとたうれお日雄多ござんが
 明日も御と戦と遣はべり方貌これと望も汝八將と陣お
 出るも宋江是とを催りあへく彼も對おあえんやと宋
 江も怒るも八人の大將馬と並へく跑出る一人の軍務一人と
 花榮一人の秦明一人の李奎一人の曹正一人の孫立一人の郝思

しん
たし

新編水滸畫傳卷之八拾三 十三

江を渡りて大に収む。子速李俊と賞し、各州を奪ひ、つらねば、
小彼阿小知、張招討劉如磐、小見く、江陰、右念海、右ホの地
とゆるるごとと、洋小若、つらねば、張劉、右招討大に収む、見賞と、
ひ、再び李俊と、宋江が、海小同、一、う。宋江の、獲州の、城、水、面
湖、を、え、み、必ず、水軍と、舟、を、攻、んと、思、り、李俊、小、命、ト、兵
船、小、と、使、へ、し、あ、つ、つ、小、李俊、が、云、ふ、系、先、彼、地、小、池、く、水、の、深、は、と
湖、り、そ、後、係、と、舟、ひ、く、城、と、攻、べ、し、宋江、を、と、受、く、可、と、思、
く、李俊、己、小、彼、地、小、舟、く、初、時、と、伺、ひ、舟、二、日、小、本、隊、小、立
回、く、昔、々、々、け、城、正、面、の、方、へ、右、湖、小、迫、し、一、艘、の、小、舟、小、營
し、く、宜、身、の、小、港、う、り、右、小、を、湖、へ、入、兵、に、小、出、南、方、の、消、息
と、具、し、く、窺、く、而、し、く、後、兵、と、を、あ、右、面、う、り、夾、ぐ、攻、べ、必、に、敵

と、級、ろ、と、名、べ、し、宋江、が、云、汝、が、く、く、ま、さ、小、我、ん、小、合、つ、り、汝、れ、也、
汝、小、使、わ、し、め、ん、副、お、あ、は、半、未、だ、く、く、く、く、李、大、友、人、の、孔、明
孔、亮、龍、胆、杜、興、け、口、人、と、引、く、江、陰、小、舟、を、威、を、猛、く、營、を、
彼、所、と、名、り、つ、く、李、威、見、牙、と、け、知、小、舟、し、め、し、く、李、意、令、と、
舟、つ、く、口、人、の、副、將、と、引、即、日、本、隊、と、お、出、右、舟、二、日、の、晚、方、江
陰、小、舟、り、劉、臺、威、見、牙、小、營、く、け、知、と、名、り、し、く、李、威、見、牙、の、
と、名、を、定、け、の、本、隊、小、同、く、宋江、小、見、え、く、く、小、宋江、の、見、え、牙、の、去、
と、李、俊、小、從、り、め、く、一、艘、の、小、船、小、系、し、め、南、方、の、瀘、州、と、使、
細、小、定、規、し、め、け、右、李、俊、の、李、威、を、猛、と、引、く、一、系、の、扁、舟、小、牌
し、右、人、の、水、子、小、槽、と、搥、也、運、小、眞、縣、の、小、港、小、船、と、名、り、
右、湖、小、入、く、右、湖、の、光、氣、と、く、く、小、天、遠、水、小、連、り、水、遠、天、と



新編水滸畫傳卷之八拾三

十八



李俊童威力
兄弟水天一色
大湖の海人

新編水滸畫傳卷之八拾三

十八

漁人おろそく是と生程彼十餘艘の船とち湖の川小舟入
 ち。榆柳庄小同りしふ子に更の天来る費保又漁人お小命
 ち活控し事と致し水申ふ洗めを因只取し。あ人の水軍
 と船申ふ留めを来歴と同るふあ人の水軍言く云我あ事は
 旨備が弟一のち子南安王方天定が子下の者よりなけ後命
 とちつく。武具と糧明小送しんと致し。こふけ也ふおなり
 ち。我あ兩人が一命と致し。あ人李俊又兩人の若ら姓名を
 父書おらくし搜し。致し。是又首と別居し。死し水申ふ事
 ち。費保おとち。海して云らる。我あ本陣お立司く。宋公明
 小要細と報し。後係と定む。費保が云。事との云を可
 なり。急を報し。小同り。宋公明と計し。俄定し。あ人とち。

物別らる漁人兩人と致し。一葉の快船と網へ。あ事おと送し
 宋の軍前おあふ。さう。嚴お命じらる。宋俊ハ重威を狂
 留く。費保おと共お消息と待し。あ。遂お快船おあ。榆柳庄
 と漕お。小港より。さ。あ軍あお。別多山寺より岸
 とと。此。陳申お報し。宋の軍用お。あ。始。終の半。伴お。終
 り。ら。ん。角。是。と。ゆ。く。大。お。収。び。已。お。か。め。の。ど。く。は。藤。州。と。致
 んと。あ。り。あ。く。号。令。と。傳。へ。り。人。と。を。宋。江。と。係。め。ら。る。ふ。宋。江
 と。言。ふ。同。し。先。事。達。範。旭。頂。元。李。豪。お。小。二。百。人。と。あ。り。李。俊
 と。共。お。ち。湖。庄。お。き。し。費。保。お。人。と。か。と。係。せ。計。と。行。わ。し
 め。事。二。日。お。を。発。す。じ。と。物。し。ら。ん。が。李。俊。命。と。ま。あ。り。事。達
 お。人。と。引。あ。び。ち。湖。の。辺。お。あ。り。あ。小。榆。柳。庄。お。あ。り。費。保

七十一

又更の時分よとや。城下におどりくる城つとちる軍士城の上
 へり。是とんまふ南玉の旗號あり。ねがふ人とは。豹大
 將軍郭世度おれと告り。くる郭世度は。とて。自
 城樓おより。さす。と具お同。又文書とを。これと。三大王
 おり。くる。蕪湖の軍軍の次。まふ。要
 論者い。費保ら。ゆ。お。船と。奪。時。お。象の石砲と。おと
 へ。漁師の。益。絨。何の。お。お。石。砲。を。行。へ。年。や。肯。が。お。れ。文。版。う。り

新編水滸画傳卷之八拾三

